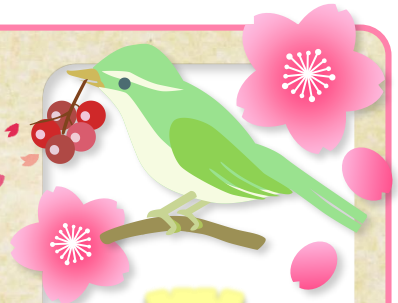


# その申し送り、結論から伝えてみよう

結論から話すと、相手がすぐに内容を理解できて、ムダなやりとりが減ります。最初に大事なポイントが伝わるので、聞く側も迷わず動けるようになります。

☞ まずは一言、「結論」から伝えることを意識してみましょう。それだけで、申し送りがぐっと分かりやすくなります。日頃の自分自身の申し送りを振り返り、結論から伝えてみましょう◎



# 業務改善新聞

# 4月

発行年月日  
2026年4月1日  
発行人：社会福祉法人  
ライフ・タイム・福島  
業務改善委員会

## 第103号



**OK**      **NG**

〇〇様  
本日食欲低下あり (結論)  
食事は半分程度です (状態)  
夕食時は声掛けを  
お願いします (対応)

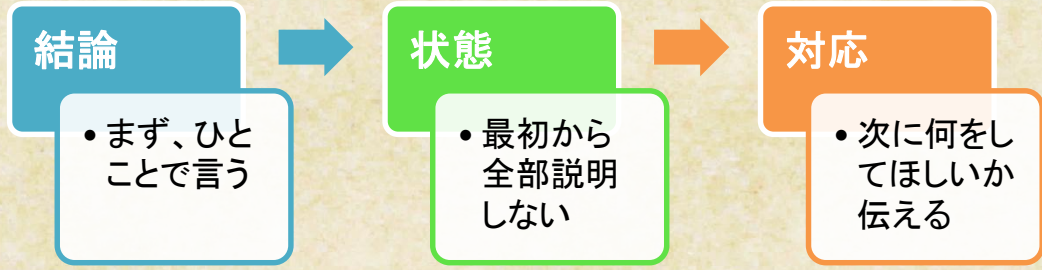


「〇〇さんなんですけど、昨日ちょっと元気がなくて、でも食事はまあまあで…」

- 何が言いたいかわからない
- 聞く側が整理しながら聞く必要がある
- 重要な情報を聞き逃す

相手の理解速度と説得力を劇的に高め、コミュニケーションの無駄を省ける♪

伝わらない・ミスが起きる



## 委員会からのお知らせ

各事業所のささいな改善、取り組み、ぜひ改善委員会までお声掛けください！  
取材、新聞に掲載させていただきます◎

### 3月のサンキューカード

松川 …… 24枚  
ライフ吉井田 …… 16枚  
フクチャンち …… 18枚

いつもありがとうございます！

「結論から伝えよう」と思っている、つい経緯から話してしまう—よくあることです。では、どうすれば実践できるのでしょうか？ポイントは、「最初の一言を決めておく」ことです。例えば、  
・「結論から言うと、〇〇です」「現状は〇〇です」  
この一言を“ログセ”にするだけで、自然と結論から話せるようになります。是非実践してみてください！



## 業務改善委員紹介

令和8年度は7名の職員が、これから様々な業務改善のサポーター役として活動していきます。  
どうぞよろしくお願いいたします！

仕事に役立つ♡  
ちよつといい言葉

『難しいからやろうとしないのではなく、  
やろうとしないから難しいのだ。』

ルキウス・アンナエウス・セネカ

(哲学者・詩人)

